

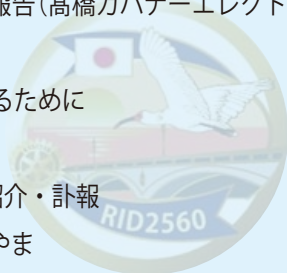
ガバナー月信

vol.04
2021.10



月信 10月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② ガバナーエレクト研修セミナー(GETS)参加のご報告(高橋ガバナーエレクト)
- ③ 関屋浜清掃活動についてのご報告(新潟中央 RC)
- ④ 新型コロナウイルス(COVID-19)の感染を予防するために
- ⑤ 会員数及び出席報告
- ⑥ 地区主要行事予定(10月・11月) ⑦ 新入会員紹介・計報
- ⑧ コーディネーターニュース ⑨ ハイライトよねやま



国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度

高尾ガバナー事務所

新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F
TEL: 025-222-2561 FAX: 025-222-2565



沢山の実りを感じる米山奨学事業に

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 ガバナー

高尾 茂典 (新潟中央 RC)

秋のやわらかな日差しが秋色の樹木を照らす季節となりました。

ガバナーに就任し、あっという間に 3 ヶ月が駆け抜けました。公式訪問では、各クラブの皆様よりの歓迎の言葉、そして貴重なお話の中から大変大きな力を頂いております。

さて、10 月は経済と地域社会の発展月間・米山月間です。

国連は、2000 年のミレニアム開発目標において、地域社会と経済を発展させるには、貧困問題の解消、女性の地位向上（エンパワーメント）、グローバルなパートナーシップ、環境の持続可能性が必要であるとしました。2014 年国連進捗レポートによると、極度の貧困者数が半減し、労働市場においての女性の地位やテクノロジーの使用の上昇により、途上国の借款は安定した状態を保っています。しかし、前進は見られるものの開発の恩恵にはまだまだ偏りがあり、国連が新たに発表した「持続可能な開発目標」からも分かるとおり、我々の成すべきことは多くあります。

ロータリー米山記念奨学事業については、奨学金による経済的な支援だけでなく、日本のロータリー独自の世話クラブとカウンセラー制度によるクラブ例会行事への参加等、カウンセラーとの心の通った支援があります。年間 860 名の多くの学生を対象に支援を続けております。地区の孫犁冰様（新潟東 RC・現幹事）も 2560 地区から巣立った沢山の学友のうちの一人です。2017 年～ 2020 年まで駐新潟大韓民国総領事館で総領事を務めた鄭美愛様はじめ多くの米山学友が成長し、各分野で活躍をしております。この素晴らしい米山奨学事業に、ロータリアンの皆様のご理解ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

ガバナーエレクト研修セミナー (GETS) に参加して

国際ロータリー第 2560 地区
2021-22 年度 ガバナーエレクト

高橋 秀樹 (新潟 RC)



去る 2021 年 9 月 13 日 (月) ~ 14 日 (火) にガバナーエレクト研修セミナーが開催されましたが、COVID-19 の感染状況に配慮し、ZOOM で行われました。

1 日目の午前中には、研修リーダー支援チームメンバー山崎淳一氏 (五所川原 RC) の基調講演「変革と成長のリーダーシップ」がありました。午後には、2 つのセッションが行われ、「地区のモチベーションを引き出す」、「クラブへの働きかけ」というテーマの下、参加者同士でディスカッションが行われました。夕刻からはオンライン懇親会が開催されました。2 日目には 4 つのセッションが行われ、「ロータリーのブランドとストーリーを広める」、「クラブの支援と結成」、「ロータリー財団とともにインパクトをもたらす」、「計画から実行へ」というテーマの下、ディスカッションが行われました。くたくたになった 2 日間でしたが、大変充実

した貴重な時間でした。いろいろと御報告したいことはありますが、以下では、1 日目の基調講演の内容を紹介させていただきます。

まず、近年の国際協議会から見たロータリーの流れとして、変革性、柔軟性、多様性の 3 つが重要なポイントとして強調されました。第一の変革性については、会員の減少、それも先進地域での減少がきっかけとなって、RI 理事会の決定、規定審議会の審議・採択内容、それら全般にわたる新設・変更・削除と、国際ロータリーが目まぐるしく変化していることが注目されます。第二の柔軟性については、2019 規定審議会の最大のトピックだった、会員資格や出席の柔軟化 (クラブの職業分類の制限を廃止、欠席のメイクアップ期間が年度内に拡大)、ロータリーアクトクラブの RI 加盟などに注目してほしい、とのことでした。第三の多様性については、ロータリーの多様性、公平さ、開放性の声明が紹介され、ロータリーは、少人数グループが会員及びリーダーとして参加できる機会が多く存在する、多様で、公平で、開放的な文化を育むことを目指すべきである、とのことでした。

次に、ロータリーが成長していくべき方策として、ロータリーアクトの RI 加盟、女性のエンパワーメント、柔軟性の導入 (例会と出席、会員身分、クラブの種類)、IT の活用 (ラーニングセンターでのロータリーについての学習プラン) が強調されました。

最後に、SRF (ロータリーの未来形成) の検討状況が紹介されました。2018 年にロータリー未来形成委員会が設置されて、ロータリーのガバナンスの在り方全般について検討がなされてきましたが、その内容について 2020 年 11 月 RI 理事会議事録で公表されました。現状では構造モデルの草案段階であり、今後具体的な検討が続けられることになっています。この構造モデルの有効性を確かめるため、2024 年から 2030 年の 6 年間に世界で 100 地区程度のパイロット地区を設定して実施する案が、2022 年規定審議会に RI 理事会提案として提出される予定だとのことですが、日本の各地区はパイロット地区になることはないようです。

以上のような内容の基調講演でしたが、今後のロータリーの大きな変化を予見させるものであったと思います。そのような変化とどのように向き合っていけば地区の各クラブの活動がより活発に、有意義に高められていくのか、今後みなさまの御意見を伺いながら考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

関屋浜清掃活動についてのご報告

新潟中央ロータリークラブ 幹事 山崎 真



9月12日曜に、新潟中央ロータリークラブ会員有志で、新潟市関屋浜海水浴場の海岸清掃活動を行いました。

2021-22年度に、国際ロータリーが全世界で実施を計画している「ロータリー奉仕デー」の一環として、Rotary TEAM JAPAN が「地球環境保全プロジェクト」を展開しています。これは、世界中のロータリアンが同じ日に海岸や河川、湖沼の清掃活動を、ロータリーファミリーや他のボランティア団体、地域住民と共に実施するグローバルイベントで、開催日が9月12日であったため、この日に実施しました。

プロジェクトホストは第2820地区（茨城県）で、当クラブ会員の高尾ガバナーがガバナー同士の会合で協力を依頼されたことから、当クラブの事業として実施することとしました。当クラブは統一開催日に実施したのですが、緊急事態宣言等が発出されている地域では開催日の延期があったようです。

当日は快晴のもと、午前9時から作業を開始しました。砂浜は遠目から見るとゴミがほとんどないように見えますが、実際に作業を始めると、細かい紙やプラスチックのゴミが散らばっており、1時間程度の作業で袋一杯のゴミが溜まりました。また袋に入りきれない大きな容器の破片等も収集されました。COVID-19 まん延の中でしたが、当クラブとして久しぶりの社会奉仕活動となりました。

久しぶりに海をじっくり眺め、海岸美化に関わった満足感もあり、非常に有意義な時間となりました。



新型コロナウイルス(COVID-19) の感染を予防するために

万代レディースクリニック

院長 **大野 雅弘** (新潟中央 RC)



日本において新型コロナウイルス感染は第5波を迎え、今や収束の方向へと向かっています。今後、これから寒い時期に入り、さらに第6波、第7波の襲来が懸念されています。日本全国では現在約170万人弱が感染し、2万人弱の死亡例が報告されています(令和3年9月20日現在)。

新型コロナウイルスは、誰しも感染する可能性があり、一旦感染すると他の人にうつす可能性があります。新型コロナウイルスは、単なる「カゼ」ではありません。

重症例では死亡することもあり、軽症、中程度感染例でも治癒した後、その約半数に恐ろしい後遺症を残し、日常生活に障害をきたすこともあります。

一番重要なことは、新型コロナウイルスに感染しないことです。感染を予防するには基本的なことですが、従来言われている「三密」(密接・密閉・密集)を避けること、日常生活で手洗い、うがいを頻回に行うこと、不要不急の外出を極力控えること、常にマスクを着用すること、人と人との距離を2m以上あけること(ソーシャルディスタンスを保つ)、人と人との接触時間をできるだけ15分以内にすること(ソーシャルタイムを保つ)、コロナワクチンを早期に2回接種すること、ワクチンを接種しても感染の可能性があるため、ワクチン接種後も十分に感染予防をすることが重要です。

新型コロナウイルスの感染のターゲットは、主に肺です。肺の状態をより良い環境に保つことが必要です。部屋で定期的に換気をして、新鮮な空気を取り入れること、禁煙をして、周りの人への受動喫煙を防ぐこと、部屋では空気清浄器でより良い空気を取り入れること、さらに、肺を良い状態に保つには、普段の生活で呼吸を意識することです。呼吸は体液の循環に影響しているのです。呼吸に重要なのは、「横隔膜」です。深い呼吸により体の内側の筋肉である横隔膜を上下に動かすことで、体液の循環が促されます。深呼吸により自律神経のバランスも整います。深呼吸により肺の末端の肺泡を十分広げることも肺にとっては良いことです。日常生活において意識的に深呼吸をすることが重要です。1セット4～5回の深呼吸を1日5セット以上を目安に続けると、肺にとって良い状態になると思います。

また、感染に対しては、良い免疫状態に置くことも必要です。良い生活習慣(3度の栄養バランスの良い食事をする、軽度の運動、十分な睡眠をとる、ストレスのない生活をするなど)を実行することが重要です。さらに、腸内環境を腸内細菌善玉菌(ビフィズス菌、乳酸菌など)優位の状態にすることがより良い腸内フローラを作り、良い免疫状態につながり、感染に強くなります。

まだまだ続くと思われる新型コロナウイルス感染症ですが、決して甘く見ないで、常日頃、感染予防に努め、感染しないことが重要です。

第2560地区 2021-22年度8月末 会員数および出席報告

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2021年 7月1日	8月末 会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	－	372	379	34	7
新発田	0	28.0%	93	93	0	0
村上	3	17.9%	38	39	9	1
水原	3	21.9%	32	32	1	0
中条	2	88.1%	41	42	3	1
新発田城南	1	17.5%	40	40	3	0
豊栄	5	12.5%	20	24	3	4
新発田中央	1	4.4%	44	45	4	1
中条胎内	3	52.8%	36	36	6	0
村上岩船	3	25.0%	28	28	5	0
第2分区(9クラブ)	／	－	433	446	25	13
新潟	4	21.6%	82	87	2	5
新潟東	2	16.9%	62	65	8	3
新潟南	3	32.4%	105	107	3	2
佐渡	3	100.0%	6	6	0	0
新潟西	3	50.0%	39	40	2	1
佐渡南	2	12.2%	40	41	4	1
新潟北	1	29.7%	37	37	0	0
新潟中央	3	38.1%	21	21	0	0
新潟万代	2	52.4%	41	42	6	1
第3分区(6クラブ)	／	－	97	98	5	1
新津	2	11.8%	17	17	1	0
村松	4	66.7%	12	12	0	0
五泉	3	0.0%	11	11	1	0
白根	4	31.0%	29	30	1	1
新津中央	4	31.8%	22	22	2	0
阿賀野川ライン	3	0.0%	6	6	0	0
第4分区(11クラブ)	／	－	366	367	27	1
三条	1	12.1%	56	58	0	2
燕	3	6.1%	34	33	3	-1
加茂	3	8.8%	33	34	6	1
三条南	3	13.6%	44	44	2	0
分水	4	79.3%	29	29	4	0
見附	3	4.8%	21	21	1	0
吉田	1	6.5%	28	31	3	3
三条北	4	1.7%	58	58	2	0
巻	3	0.0%	25	22	2	-3
田上あじさい	5	14.3%	7	6	1	-1
三条東	2	6.5%	31	31	3	0

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2021年 7月1日	8月末 会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	－	296	302	25	6
長岡	4	80.0%	45	45	3	0
柏崎	3	2.4%	41	42	0	1
長岡東	3	27.8%	52	54	3	2
柏崎東	1	17.4%	45	46	3	1
栃尾	4	12.0%	25	25	0	0
長岡西	3	19.6%	50	51	4	1
柏崎中央	2	23.1%	38	39	12	1
第6分区(6クラブ)	／	－	122	127	11	5
十日町	3	28.1%	32	33	4	1
小千谷	1	10.0%	30	30	3	0
雪国魚沼	4	17.4%	20	23	2	3
十日町北	1	0.0%	18	19	1	1
津南	1	18.8%	16	16	1	0
越後魚沼	4	16.7%	6	6	0	0
第7分区(7クラブ)	／	－	312	319	23	7
高田	2	31.1%	72	74	5	2
直江津	4	31.9%	69	69	6	0
新井妙高	3	11.8%	31	34	1	3
糸魚川	3	72.7%	41	44	3	3
高田東	3	63.9%	36	35	3	-1
糸魚川中央	3	50.0%	28	28	0	0
越後春日山	3	100.0%	35	35	5	0

クラブ数	55	クラブ
7月1日 会員数	1,998	人
8月末 会員数	2,038	人
女性会員数	150	人
純増減会員数	40	人
My Rotaryアカウント登録率	28.2	%

地区主要行事予定

2021年9月30日現在

年 月 日			行 事		会 場
2021年 (R3) 高尾年度	10月	経済と地域社会の発展月間・米山月間			
		2	(主)	第2分区IM (片山G補佐・新潟東) →2022/3/19に延期	ANAクラウンプラザホテル
		9	(主)	第1回米山記念奨学委員長セミナー →DVD配布	ホテルイタリア軒
		17	(日)	ライラ研修	オンライン
		22	(金)	地区諮問委員会・高橋年度結団式	ホテルイタリア軒
		23	(土)	第1分区IM (羽田G補佐・水原)	阿賀野市保田 亀田屋
		24	(日)	世界ポリオデー	
		24	(日)	米山記念奨学生交流会	オンライン
		30	(主)	高尾年度 地区大会1日目/RI会長代理歓迎晩餐会 →2022/4/16に延期	ANAクラウンプラザホテル新潟
	31	(日)	高尾年度 地区大会2日目 →2022/4/17に延期	ANAクラウンプラザホテル新潟	
	11月	ロータリー財団月間			
		6	(主)	第3分区IM (山口G補佐・新津) →延期	割烹 樹形屋
		13	(土)	米山記念奨学生学友会総会・面接官オリエンテーション	ホテルオークラ新潟
		20	(土)	第7分区IM (風間G補佐・越後春日山)	ホテルハイマート
		21	(日)	長期派遣学生選考試験 →中止	タロスパル
		27	(主)	高額寄付者感謝の集い →中止	ANAクラウンプラザホテル新潟

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
新発田中央	加藤 学	2021.7.7	㈱真正クリエイト	代表取締役	塗装業
加茂	坂井 奈穂子	2021.8.5	ジブラルタ生命保険㈱ 新潟支社 新潟第三営業所	ライフプラン・コンサルタント	生命保険
新発田中央	中村 功	2021.9.1	㈱アグリ加治川	監査役	米穀販売
新発田中央	倉嶋 浩幸	2021.9.1	鳳興建	代表	解体工事
中条	近 匠実	2021.9.1	近塗装工業㈱	代表取締役	塗装・看板工事業
高田東	鷺澤 雅皇	2021.9.6	上越トヨー住器㈱	代表取締役	建築材料販売
中条	井上 大輔	2021.9.15	㈱井上材木店	代表取締役社長	建設業

【訃報】

(敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
糸魚川	岩崎 和夫	2021.9.5	創和ジャステック建設(株)	代表取締役会長	土木建設	第50代会長・マルチプル フェロー+1・第2回米山功 労者



「未来ビジョン委員会」設置について

世界のすべての地域で熱波、豪雨、干ばつ、熱帯低気圧の極端な異常気象はすでに顕在化し、新型コロナウイルス感染症が収まることなく、多くの人が振り回され「2度目の秋」を迎えます。ロータリー年度も早いもので3か月が過ぎました。早い地区では地区大会開催が計画されているかと思います。

さて今年度、ロータリーは、会員基盤の成長への多大なコミットメントと功績を示した会員を認証するプログラムを立ち上げました。新会員推薦者を認証するメンバーシップ・ソサエティで、25人以上の新会員を推薦した会員を紹介するバーチャル形式のギャラリーです。

認証レベルにはプラチナレベル（75名以上推薦）、ゴールド（50～74名）、シルバー（30～49名）、ブロンズ（25～29名）5つのレベルがありますが、日本はゴールド2名、シルバー11名、ブロンズ10名の方々がいらっやいます。是非とも My ROTARYの会員コーナーをご覧ください。

さて、皆様の地区では「戦略計画委員会」が設置されていますか？

団塊の世代が75歳を迎え、各クラブに於いてコロナ禍の影響もありますが、会員の高齢化と会員減少がみられます。クラブ、地区においてこの問題に真剣に取り組む努力をしていますが、既存の会員は毎年かならず歳を重ねていきます。高齢化から老齢化の道に進まないために毎年新しい会員を入れていくことはクラブの活性化に繋がります。又、入会5年以内の退会が目立つのも事実です。会員増強、そして会員基盤の育成はクラブ、地区の急務です。「将来、こうありたい」と思う3年後・5年後・10年後の望ましいクラブの姿のビジョンを描き、それに従った目標と行動計画を立て、クラブの活性化を図る「未来ビジョン計画」が必要です。

私の所属する2510地区では、今年度から改めて地区クラブ奉仕委員会が中心となり、クラブの「戦略計画委員会」を「未来ビジョン委員会」と名称を変え委員会の設置を改めて強く呼びかけることにしました。計画立案のプロセスとして第1段階：クラブの現状分析、第2段階：クラブのビジョン作成、第3段階：ビジョン実現の為に計画作成、第4段階：計画の進捗確認・検証・調整としました。各クラブにおける「未来ビジョン委員会」は、それぞれのクラブの自主性と独自性を尊重し、これからのクラブの在り方を諮問していくものです。現会長・直前会長・次年度会長・次々年度会長を含み継続性に配慮する。幅広い見解を取り入れるために、出来るだけ多様な会員の参加、「ロータリーのビジョン声明」と「ロータリーの戦略的優先事項と目的」に沿ったものとする。地区戦略計画作成の参考にして頂ければと思います。

我々ロータリアン、ロータリークラブ、地区はこのような状況においても「SINKA」をしなければなりません。新価：新しい価値を作り出す。深化：改善により魅力を高めていく。真価：世の中に認められる。進化：そして前進して行くです。TOGETHER～GROW～ACTIONをもって皆様の地区・クラブが益々のご発展されます事ご祈念申し上げます。

第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 福井 敬悟（札幌手稲RC）



公共イメージ向上オンラインセミナー報告

去る9月4日、三地域合同によるオンラインセミナーが開催されました。辰野克彦RI理事・佐藤芳郎RI理事エレクトを始め、三地域のコーディネーター・各地区ガバナー・ガバナーエレクト・地区委員長など、総勢約120名が参加されました。冒頭、辰野RI理事は「予算の不足は知恵を使って補い」ロータリーのブランドイメージの向上を期待したい旨を呼びかけられました。

セッション1では、R3山下皓三RPICが「公共イメージの推進」と題し、その重要性・方法・成功例を踏まえた上で、「変化を受け入れましょう」と呼びかけられました。セッション2では、R1井原寛RPICが「ロータリーブランドとロゴの重要性」と題し、戦闘中の兵士でさえ銃撃を止める「赤十字」のブランド力を例示し、ロータリーブランドの更なる向上の必要性を問い掛けました。セッション3では、R2服部陽子RPICが「世界ポリオデーに向けての取り組み」と題し、来る10月22日に予定される日本経済新聞一面広告・12月8日に予定される記念講演「ポストコロナの生命哲学」などの諸事業について解説されました。

続いて、これまで世界ポリオデーに合わせて各地区で行われた事例発表として、2770地区越谷北RC・小林操PDGが「地区をまとめた取り組み」を、2640地区岸和田東RC・藤井秀香PDGが「高野山での祈祷、ポリオ根絶に向けての活動報告」を、2790地区千葉RC・梶原等DGが「成田山での祈祷（今年度事業として計画中）」を、2750地区東京小金井RC・田中靖地区公共イメージ委員会委員長が「トレインジャック（今年度事業として計画中）」を発表されました。

全企画とも、FacebookなどのSNSを使って情報発信するのみならず、新聞記事やテレビニュース・特番などに取り上げられ、ロータリーのイメージ向上に貢献致しました。加えて、一つの企画のみを実施するに留まらず、同地区内で多発的な事業の同時開催を試み、あるいは役場・公民館・観光センターなどの公共施設に募金箱を併設し、更にローターアクトや奨学生などロータリーファミリーおよび隣接する他地区との連携を図るなど、参加者の基盤を拡大する工夫もされておりました。

事業を実施した成果として、小林操PDGは「やればできるという前例となり、共通の思い出と共に地区が一つになった」との想いを語られました。

最後に、佐藤RI理事エレクトの「日本中のクラブがアクションを起こして頂きたい」との講評を以って閉会となりました。

私にとっても、大きな収穫となったセミナーで御座いました。

第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 寺嶋 哲生（柏RC）



1. 理事会と評議員会をオンライン開催

8月20日に第30回理事会をZoomで開催しました。理事会のオンライン開催は前回(本年6月3日)に続き、2回目です。当日は、全国から29名の理事と3名の監事が出席。齋藤直美理事長が欠席のため、定款の規定に従い、出席理事の中から互選で、水野功副理事長が議長に選出されました。第1号～第8号の全ての議案につき、原案通り承認可決されました。

【第30回理事会の主な議案】

評議員後任候補者／理事候補者／2020年度事業報告／2020年度計算書類／2021年度収支予算書一部修正／2021年度専門委員選任 ほか

また、9月9日には第13回定時評議員会を同じくZoomで開催しました。昨年9月の定時評議員会は新型コロナウイルスの影響により初の書面決議となり、今回も緊急事態宣言下のため、評議員会としては初めてオンラインでの開催となりました。

当日は、全国の評議員29名のほか、常務理事会から役員8名が出席。評議員会開始前に15分

間、第4代よねやま親善大使の3人を評議員の皆さんにお披露目し、3人から一言ずつ自己紹介してもらいました。評議員会の冒頭では、昨年8月にご逝去された赤山武興評議員に全員で黙祷を捧げました。定款により、評議員会の議長は、出席評議員の中から互選で選ばれることになっており、第2840地区の田中久夫評議員が議長に選出されました。

田中議長の進行で、報告事項として、①理事会決議報告 ②内閣府立入検査報告 ③

職務執行の状況報告 ④2020年度事業報告が資料に基づき説明され、続いて理事会から上程された「後任評議員の選任」「理事の選任」「2020年度計算書類承認」など4議案が諮られ、全て原案通り承認可決されました。



2. コロナと闘う病院のために — マレーシア —

マレーシア米山学友会は今年度の社会貢献活動として、新型コロナウイルス感染拡大により病床が逼迫する病院への支援をスタートさせました。8-9月には、ペナン総合病院へ寝たきり患者用マットレス10点と、入院した子どもに付き添う親のための椅子10脚を寄贈。さらに9月13日には、クアラルンプール市内の病院へ可動式ベビーベッド10台を寄贈しました。これらの支援は、事前に病院へニーズをヒアリングし、不足した品物を送っているため、大変喜ばれています。また、今後は、新型コロナウイル

ス感染症により親を失った子どもへの支援も予定しているとのことです。さらに、同学友会会長の黄麗容さん(横浜泉RC)は、国際ロータリー第3300地区ガバナー補佐のウォン・ステファニー氏と会談し、米山学友会がロータリーと手を組んで、マレーシア国内でどのような貢献が可能かを模索しています。



3. まもなく米山月間資料が届きます

10月はいよいよ米山月間です。今年も米山月間用資料を全国の皆さまへお届けします。

毎年恒例の『豆辞典』は、米山記念奨学事業についての情報がほぼ網羅されている小冊子。会員数分お送りしますので、1人1冊お手元にお持ちください。豆辞典を使って米山奨学事業を説明するためのパワーポイントは、9月中旬に当会HPで公開します。そのほか「クラブ米山記念奨学委員長の手引き（寄付マニュアル合併）」「2020年度事業報告書」「2020年度決算報告」を送付します。

追加資料のお申し込みは、同封の「追加資料申込書」に記載の上、お送りください。

9月22日に
全国発送



4. 寄付金速報 — 10月の米山月間に向けて —

8月までの寄付金は、前年同期と比べて6.6%減（普通寄付金:1.0%減、特別寄付金:16.3%減）、約2,050万円の減少となりました。当会は半期に一度、地区から会員数を報告いただいておりますが、昨年7月1日時点では85,237人、今年度は83,395人と、約1,800人減少しています。このように厳しい状況ではありますが、多くの方々から引き続きご支援をいただき深

く感謝申し上げます。

10月は米山月間です。当財団は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当奨学会への寄付金には所得税、法人税の税制優遇が受けられます。相続税も非課税となります。今年度の米山月間も、何卒皆さまからのご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

5. タイ米山学友会が農村の小学校を支援

タイ米山学友会は8月17日、首都バンコクから450kmほど離れたタイ東北部のコーンケン県で、小学生81人へ緊急支援セットを寄贈しました。

今回は、同県在住の米山学友、アイラダー・カムピラーさん（2017-18／東京本郷RC）から、コロナ禍の影響を受けている地元の小学生たちやその家族を支援したいとの提案を受け、保



存食やマスク、アルコールジェル、家庭薬などが入った支援セットを準備。タイ米山学友や、本プロジェクトに賛同する日本のロータリアンからの応援メッセージを添えて、アイラダーさん自ら小学生たちに手渡しました。アイラダーさんは「奨学期間が終わってからも、“入りて学び 出でて奉仕せよ”の言葉がいつも心に残っています。今回の活動を学友会の皆さんや日本のロータリアンに支えていただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです」と、話しました。ワシン会長は今回の活動を受け、「今後も、地方に住む学友から実施したいプロジェクトを募集し、その活動を学友会として応援していきたい」と、語っています。

